



代表

## 有間 桂子

大阪府堺市出身。学生時代はソフトボールの強豪校で投手として全国大会にも出場。卒業後は福祉の専門学校を経て、介護業界で経験を蓄積した。26歳でケアマネジャーの資格を取得し、施設を併設したケアプランセンターに勤務。そして2019年9月に「オフィス有間」を設立し、独立型ケアプランセンターを立ち上げ現在に至る。

### 合同会社 オフィス有間 ルイケアプランセンター ルイ相談支援センター

大阪府堺市堺区一条通 1 番 23 号  
堺ビル 201  
URL : <http://hp.kaipoke.biz/t56/>

有間代表は、どうして福祉分野に興味を持つようになったのでしょうか。  
家族と一緒に、特別養護老人ホームで暮らす曾祖母を訪ねたことがきっかけでした。それまで福祉の仕事は大変なイメージでしたが、その時にお会いした職員さんたちは、皆さん笑顔でお仕事をされていて衝撃を受けました。それで興味を持って、福祉の専門学校を経て20歳で就職しました。ちょうど介護保険が導入される前年で業界が大きく変わっていく中、様々な経験を積みました。26歳の時にはケアマネジャーの資格を取得し、40歳の区切りを迎えた2019年に独立。1人でスタートしました。今は私を含め6人です。

こちらは独立型のケアプランセンターだと伺っていますが、独立型というのは？  
併設のサービス事業所を持たず、ケアマネジメント業務に特化した事業所です。私共では介護保険サービスと障害福祉サービスの相談窓口として、「ルイケアプランセンター」と「ルイ相談支援センター」を運営しています。ほとんどのケアプランセンターはサービス事業所を併設しています。ケアマネとしては、客観的に見て利用者様のニーズに合う事業所を提案したいところですが、併設型だと自社サービスを囲い込むことになる。そこで、独立型での起業を選んだんです。独立型の事業所は、全国でも1割程度しかないと言われています。

## 併設施設を持たない独立型事業所として 誠実かつ公正中立にケアプランを作成

介護福祉施設に併設するケアプランセンターが多い中、独立型のケアプランセンターとして『ルイケアプランセンター』『ルイ相談支援センター』を運営する『オフィス有間』。利用者様の立場に立ったサービス提供を第一に掲げる有間代表に、併設の野村宏伸氏がインタビューを行った。

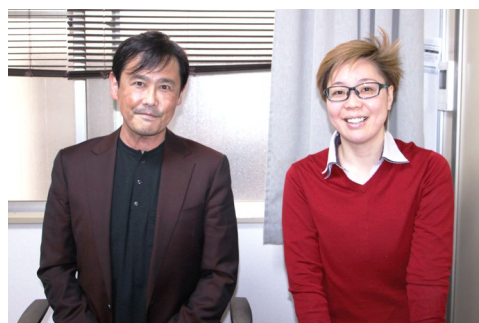
利用者さんの立場に立ったサービス提供ができるんですね。ですが、なぜ全国的に独立型は少ないのでしょうか。  
やはり、併設の事業所に案内することで経営上の安定も図れる、という部分は大きいと思います。ですが、当社では理念である「人に尽くす・貢献する」に則って、一人ひとりに合ったケアプランの提供を徹底。お陰様で各方面からの信頼も厚く、利用者様やそのご家族に喜んでいただくことができています。そうしてたくさんのご依頼をいただくことで、可能な限り職員に還元しているんですよ。それによって職員のモチベーションも上がり、それがまた良いサービスを生んで、良い循環ができています。

それは何よりですね！

私共の利用者様は、重度要介護の方がほとんどです。独立型のケアマネ事業所でも、ケアプランの専門家としてそうした方々に良いサービスを提供できることを、証明し続けていきたいですね。そして、同じ思いで頑張ってくれる仲間を増やしていきたい、業界全体に独立型が増えたら嬉しいですね。

ゲストインタビュアー

野村 宏伸  
(併設)



「『周りの方々や職員に支えられて今がある』と感謝を述べておられた有間代表。独立以降、皆さんへの感謝の気持ちがより強くなったそう。そんな代表だから、良い仲間や利用者さんに恵まれるのでしょうか！」